

東海市都市計画マスタープラン 第 2 回策定委員会 ＜議事要旨＞

●開催概要

日 時	2022 年 12 月 15 日（木） 15：00～17：00
場 所	東海市役所 302 会議室
議 事 次 第	1 委員長挨拶 2 第 1 回策定委員会の実施報告【参考資料 1, 2】 3 議題 (1) 都市づくりの理念と目標について【資料 1】 (2) 将来都市構造図の考え方について【資料 2】 (3) 将来人口推計の考え方について【資料 3】 4 その他

●議事結果

1 委員長挨拶

2 第 1 回策定委員会の実施報告【参考資料 1, 2】

大林委員	参考資料 1 の No5 「ワンコインタクシー」について、ニュースで菰野町の 400 円タクシーの事例を見た。アプリを使うと高齢者は 100 円とのこと。調べてみてはどうか。
事務局	興味ある取組であり、調べてみたいと思います。
嶋田委員長	自治体はかなり補助しているのではないかと思う。様々な事例があると思われ、調べてみてほしい。

3 議題

(1) 都市づくりの理念と目標について【資料 1】

事務局より資料 1 について説明し、質疑応答・協議を行った。主な内容は以下のとおり。

嶋田委員長	課題⑥「狭あい道路への対応」に対して、目標⑥「狭あい道路への適切な対応」となっていて、具体的なことがわからない。
大林委員	イメージできるような表現をする必要がある。
嶋田委員長	「狭あい道路解消に向けた」等のように、もう少しイメージがわくような表現を検討してもらいたい。
事務局	第 3 回の委員会では方針を提示します。目標に対する具体的な整備方針等についてはそちらで示したいと考えています。
神谷委員	目標①に「都市基盤（道路網・駅前広場など）を整備」とある。東海市では既存の道路ネットワークが充実してきている。新たに整備するものだけでなく、既存のネットワークを活用する視点も必要だと思う。
事務局	検討します。
谷口副委員長	目標⑨について、「東海市ゼロカーボンシティ宣言」を掲げていることから」というのは、理由としてどうかと思う。あらゆる手段・政策を用い、行政だけでなく企業・市民も一緒になってとい

	う、横断的な内容になるのではないかと。
事務局	横断的な内容となるように表現を修正します。
嶋田委員長	「東海市ゼロカーボンシティ宣言」の内容は出てくるのか。どういうものか記載があればわかりやすい。
事務局	検討します。
神谷委員	目標⑩について、ここだけ「緑陽公園」と固有名詞が出てくる。整備方針などに移してはどうか。 また、目標⑪・⑫・⑬の文末がすべて「安心・安全な都市を目指します。」となっている。それぞれ具体的に何をするのかを示す表現にしてはどうか。
事務局	表現を修正します。
佐々木委員	東海市のあちこちで課題への対応が着々と進んでいると思っている。市の中で何を優先して取り組むかは決まっているのか。
事務局	市民アンケートによる満足度・重要度の結果等を踏まえ、優先順位を導き出せればと考えています。
朝田委員	全体的に「都市づくりの基本的課題」と「都市づくりの目標」で表現が同じと思われるところがある。「〇〇が不足している」など、市民がわかりやすい表現をしてもらいたい。 内容に異論はない。表現を上手く整えてもらいたい。 目標⑭について、「広域交通体系」と「新産業」がどうつながるのかよくわからない。既存産業と新産業のバランスが必要。なぜ課題として「新産業」が出てくるのかの説明が必要だと思う。
事務局	課題の表現を見直します。
神谷委員	目標⑰・⑱は「既存産業」に限らなくてもよいのではないかと。また、「渋滞対策」は課題ではあるが、目標①にあった「道路網の充実」等も加えてはどうかと思う。 目標⑳に「地域資源を活用」とあるが、地域資源とは何を指すのか。
事務局	ご指摘の通り「既存産業」に限定する必要はないと考えますので、表現を修正します。 地域資源は歴史的なものや観光に活かせるものを想定しています。わかりやすい表現を検討します。
嶋田委員長	「〇〇等の地域資源」といった表現があるとわかりやすい。
谷口副委員長	目標㉑に「太田川駅西地区」とあるが、駅の機能と結びつけるのか。かなり距離があるため、駅の利用者と結びつけるのは、相当考えないと難しい。名古屋へ行くのではなく太田川駅に来てもらうことを意図しているのか、そうではないのか。太田川駅の使い方を戦略的に考える必要があると思う。
事務局	太田川駅から駅西までのエリアでにぎわいをもたせたいと考えています。
大林委員	離れていても行ってみたい施設があればよい。太田川駅の高い利便性を生かすべき。飽きられないような魅力ある店舗の誘致等が重要である。
嶋田委員長	駅からの連続性が必要。
谷口副委員長	駅前が魅力的にできていないのに、駅西までできるのかという心配がある。例えばペDESTリアンデッキなどで歩いて楽しめるような仕掛けがないと難しいかなと思う。
嶋田委員長	事務局としては、駅から駅西地区まで連続的ということか。
事務局	そうです。
嶋田委員長	「目標を支える共通認識」は、もう少し目立つ位置に移動できないか。
事務局	表現やレイアウトについて検討します。
朝田委員	立地適正化計画を策定した後に都市計画マスタープランの改定をするのは、県内では東海市が初となる。 法律上、立地適正化計画は都市計画マスタープランの一部であり、立地適正

	化計画を定めている時点で、住環境の充実やにぎわいづくりに力をいれていくという宣言をしているようなもの。 立地適正化計画を含め、既存の関連計画等との整合は図られているか、取りこぼしがないかを確認していただきたい。
事務局	各種の関連計画と整合を図りながら検討を進めます。
大林委員	カーボンニュートラルは、どのようにするのか。公園の整備等によって進めていくのか。 水素ステーションを整備するなどはどうか。
事務局	民間企業に協力していただくこともあります。行政として進めることとして、公園の整備等について記載しています。
嶋田委員長	そういった方針が次回の委員会で出てくると思う。

(2) 将来都市構造図の考え方について【資料2】

事務局より資料2について説明し、質疑応答・協議を行った。主な内容は以下のとおり。

濱田委員	名半バイパスが全線開通したことを踏まえて、沿道の商業立地にも目を向けて、沿道に拠点を立ててはどうか。また、新駅周辺の区画整理による新たな拠点などについても検討してはどうか。
事務局	名半バイパスにより、人の流れが変化すると考えています。それによる生活圏でのにぎわいを想定して、将来都市構造としていきたいと考えています。
大林委員	道路は血管のようなものであり、道路をつくればにぎわってくると思う。
神谷委員	都市拠点には東海市芸術劇場や日本福祉大学（東海キャンパス）が含まれている。芸術劇場は広域交流拠点でもあるし、文化拠点でもある。せっかくの施設が埋もれていると思われ、特徴的なものを上手く表現できたらと思う。
事務局	拠点の名称を再検討するなどの対応を検討します。
朝田委員	都市構造図の評価は初めてみる事例。試みとしては評価している。 都市計画は長期的な視点で考える必要があるため、多くが継続となっているのはよいと思う。ただ、「△要検討」については、事業進捗を踏まえた受動的な評価になっているように思われ、検討の契機等についてももう少し整理してもらいたい。
事務局	評価の記述を検討します。

(3) 将来人口推計の考え方について【資料3】

事務局より資料3について説明し、質疑応答・協議を行った。主な内容は以下のとおり。

稲吉委員	将来土地利用フレームの考え方について、県都市計画課のアドバイスをいただきたい。
朝田委員	基本的な考え方に問題はない。ただし、立地適正化計画を作成している市として、市街化区域の中でも居住誘導区域の内外で人口密度を変えるなど、詳細な検討が必要と思われる。 案の作成にあたってご相談いただければ、確認等はさせていただきます。
稲吉委員	今後のプロジェクトによる人口増加の加味の考え方に問題がないかを懸念している。区画整理であれば状況がわかるが、民間による住宅開発等は明確に把握することが難しい。 また、市街化区域の拡大の考え方について、「未利用地で収容可能か確認し、収容可能であれば市街化区域の拡大の必要はないと判断する。」と断言している点も懸念している。
嶋田委員長	総合計画の将来推計人口に上乘せするとあるが、東海市として将来推計人口が2つ存在することになるのは問題ないか。
事務局	総合計画は10年後の将来推計人口を出しますが、都市計画マスタープラン

	ではその先のピーク人口も出すことを想定しています。
朝田委員	総合計画の将来推計人口とは整合を図る必要がある。 国立社会保障・人口問題研究所の推計では小規模な開発等による影響は考慮されていないため、それらを踏まえた政策的な目標値を設定することも考えられる。ただ、新市街地の面積や目標人口等のフレームの設定は、総合計画と整合がとれるよう、繰り返し検討を行う必要があると思われる。
事務局	ご意見を参考に検討します。ご相談に乗っていただけるとありがたいです。
朝田委員	令和3年から令和4年にかけて人口が減少しているが、新型コロナウイルス感染症等の外部要因によるとの分析があれば、それ以前のトレンドを使用することも考えられる。市ではいろいろな方法で目標や政策を定められる。またご相談いただければと思う。

9 その他

- ・市民アンケートは令和5年1月6日まで、企業アンケートは令和5年1月13日までを期限として実施しています。
- ・次回の策定委員会の日程については電話で調整し、通知文にて連絡します。(3月下旬を想定。)

●会議の様子

